

(31) 平成25年(2013年)3月1日 金曜日

市民タイムス

(第3種郵便物認可)

## 松本秀峰中等教育学校

# 1期生 新年度「4年」に

松本市の松本秀峰中等教育学校に開校時の平成22年度に入学した第1期生が4月で4年生に進級する。

「中等教育前期」に当たる義務教育の中学校を卒業したとの同等で、新年度から高校相当の「中等教育後期」を学ぶ。同校の「中等教育学校」制度は入学から卒業まで6年間一貫して学ぶため、文部科学省による戦後の学制改革以降、松本地方では初めて中学・高校相当の年齢の生徒が「二つの学校」で学ぶ場となる。

(小岩井貴之)

12日に3年生の前期課程修了式が開かれる。一般的な併設型の中高一貫校とは異なり、3年次修了での卒業や4年次からの入学はない。新生が所属するクラブや生徒の予定だ。クラブ活動は中学

生相当と高校生相当のメンバーガ一緒にいるため、運動系クラブは県高校体育連盟に加盟するものの高校生の大会へ出場は個人競技や少人数競

「充実期（3～5年生）」が一緒にいるため、運動系クラブは県高校体育連盟に加盟するものの高校生の大会へ出場は個人競技や少人数競

年目として、すでに高校課程技術などを文化系クラブはこれまでと同じで、1～3年とともに活動する。1～3年ともに活動する。しかし受験を希望する生徒の保護者の問い合わせの中

生以上を対象に午後7時までには、「高校受験はどうなるのか」や「後期（4年生）か現在は校内に試験的に開設している。

長い期間で自由にカリキュラムを組める『広域学習』が最大の強みだ。ようやく1～4年生がともに学ぶ場が生まれた誤解もみられるという。

松本秀峰は、6年間で独自の制度への理解がより深まれば」と期待し



4年生への進級に向け、試験的に開設した自習室